



PDF



77 . ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum*



写真2-91 . ミヤマアカネ . 養父郡関宮町 . 1997.7.20. [腹部挙上姿勢](#)(ふくぶきょじょうしせい)で静止するオス .

分布：本種は、神戸においてこの十数年のうちにいちじるしく衰亡（すいぼう）した種の一つです。1970年代以前には、北区道場町、有野町、有馬町、山田町など、道場町と裏六甲一帯に記録があり、多くが「多数」と記されています。当時の道場村で、1935年8月25日、1 1、柴田慶蔵という記録もあります。しかし、筆者が再調査を開始した1988年以降では、北区道場町、有野町、灘区六甲山町、東灘区本山町、住吉本町でそれぞれ1頭ずつの記録があるだけです。

生態：神戸での観察例がないのですが、兵庫県下の他の産地では7月中旬には羽化が始まるようです。アカトンボの中ではめずらしく流水環境を好む種です。氷上郡青垣町の遠坂川で幼虫をたくさん採集したことがあります。羽化してもその場所からあまり遠くには移動しないようで、近辺の草むらで未熟な成虫がみられます。神戸での採集記録はほとんどが8月中旬から9月中旬にかけてのもので、谷上では、1970年代には、9月に水田の稲穂の上で止まっている個体が数多くみられました。[連結打水産卵](#)をおこないます。

形態：腹長20～26mm。翅の独特のバンドで、他種とみまちがうことはまずありません。

